「平和と人権」市民ネットワーク情報 NO6

事務局発行(Tu 0557-45-1182) http://peaceito.moo.jp 2016.6/22

参議院議員選挙に向けて

-市民ネットワークの立ち位置-

今日、6月22日、参議院議員選挙が公示されま した。投票日の7月10日に向けて、選挙戦が繰り 広げられます。今回の選挙の最大の焦点は、自民 党・公明党など改憲勢力が参議院で 2/3 の議席を 獲得するかどうかです。改選議席 121 のうち 78 議 席を政権与党(プラスα政党)が得るかどうかをめ ぐる攻防です。もちろん、改憲派が 2/3 の議席を 得たとしても、直ちに憲法改正(の発議)が本格化す るわけではないでしょう。改正案が国民(投票)に提 示されるまでにはいくつものハードルがあります。 が、重要なことは、2/3を得ることによって、改憲 の主導権が改憲派に握られる、ということです。 改憲阻止勢力は受け身の対応を余儀なくされます。 2/3 を阻止できなければ、社会全体が一マスコミも 世論も一改憲に向けて大きく舵を切ることでしょ う。そういう意味で、今回の選挙は日本国憲法の 命運を決する歴史的な選挙といって良いと思いま す。

さて、「市民ネットワーク」は選挙に対してどんなスタンスに立っているでしょうか。「市民ネットワーク」は情報のやり取りを通して市民を横に繋ぐ媒体です。特定の政治目的の実現を目指す運動体ではありません。したがって、選挙に際して、A政党やB候補を支援したり、あるいは投票を呼び掛けたりすることはありません。しかし、このことは政治的に中立の立場に立つ、という意味ではありません。

発足に際して取り決めた規約と**【当面の活動方** 針】を下に引用します。

第3条(理念)

本会は「呼びかけ文」の主張と以下の理念に立って活動する。

- ①人権の尊重と生活の擁護。
- ②軍事力に頼らない平和の構築。
- ③立憲主義と民主主義の擁護。

【当面の活動方針〕

当面、下記の政治的課題を重点に情報を発信する。

- ①新安保法(自衛隊の恒常的海外派兵、集団的自 衛権容認)の廃棄。
- ②憲法の規範性の回復・立憲主義の擁護。
- ③原発再稼働の阻止。浜岡原発の廃炉。
- ④沖縄の辺野古基地建設の阻止。

これを参照すれば、「市民ネットワーク」が安倍 政権の憲法無視・立憲主義破壊・平和主義蹂躙に 真っ向から対立することは明らかです。私たちは 現在の政権与党=自民党・公明党と(+α政党)が推し進める改憲を阻止する側に立ちます。私たちは 『平和と人権』を旗印に掲げて活動を進めてきました。その立ち位置から、今度の選挙に際して、私 たちと主張を同じくする野党勢力の伸長を心から 願うものです。

「市民ネットワーク」事務局・一同

沖レポー沖縄報告会-

伊東の青年の胸を熱くさせた沖縄のいま

日時:6月26日(日) ① 14:00~15:15

沖縄レポート + クロストーク

14:00~16:30

2 15:30~16:25

Video 鑑賞:「高江のたたかい」

会場: 観光会館 3 F

第1会議室

浦島浩司's Live.

13:30~です!

参加費は無料で~す、どうぞお越しください。

「標的の村」、伊東で上映!!

「戦場ぬ止み」と同じ三上智恵監督が、東村・高江 の人たちの「ヘリパット」建設反対運動をドキュ メントした作品です。「戦場」と同じく、権力に素 手で立ち向かい、非暴力を貫きつつ懸命に闘う人 たちが描かれます。『高江』から始まった運動は、

オスプレイ配備反対から建白書上申へ発展し、や がて翁長知事を生む『オール沖縄』運動へと結実 していきます。沖縄の今を知るうえで欠かせない 作品です。上映の要綱は以下の通りです。詳しく は別紙(or 添付ファイル)をご覧になってください。

- ·上映日時…8月6日(土) 13:30 開場、14:00 開会
- ·上映時間…91 分
- ・上映場所…ひぐらし会館ホール 伊東市桜木町 I -1-17(2 0557-38-1511)
- ・前売券……500円、以下の書店で販売しています。 ※伊東市内···文泉堂書店(☎ 37-2970)
 - ※伊豆高原···岩上書店(☎ 53-0051)
- ・主催…「『平和と人権』市民ネットワーク」
- ・問い合わせ先…三好康昭(☎ 0557-45-1182)

「総がかり行動 伊東連絡会」の活動

6月5日に、伊東連絡会は「憲法を壊す安倍政権にこの国の未来は任せられない」というチラシを作成し、市内全域に配布しました。新日本婦人の会伊東支部は宇佐美地域でのチラシ配布と、伊豆高原ナガヤ前での宣伝・チラシ配布と 2000万署名行動に取り組みました。前後して、年金者組合や平和委員会、共産党伊東市委員会などでもチラシ配布を行いました。

今月の19日行動は、観光会館前に約15名の方が参加し、スピーチに元気な合いの手が入って道行く人々にアピールしました。同日の富戸地域での署名行動には4名が参加し、19筆のご協力がありました。伊東市連絡会で決めた目標は12,000筆ですが、9,000筆を超えあとひと頑張りです。

(総がかり行動 伊東連絡会 伊藤廣光)

高校生へのビラ配り -川奈駅前で-

6月17日、7時過ぎから1時間ほど、川奈駅前でチラシの入ったハンドティッシュを配りました。チラシは「みんなで投票に行こう」と呼びかけつつ、憲法9条を称える渡辺謙の文などを載せるなど、政権批判的な内容です。伊東商業と伊東高校に通学する生徒たちに、「高校生も政治に関心を持とう」と声をかけながら渡しました。活動したのは、川奈に住む「市民ネット」の呼びかけ人と賛同者の5名です。高校生たちは概ね素直に受け取ってくれました。一般の通勤者と合わせて全部で170個余りのティッシュを配ることができました。駅員さんとかに文句を言われたら「選管の者です」とごまかそうと思っていましたが、その必要はありませんでした。

(「市民ネット」 三好康昭)

インターネット・メディア視聴会のお知らせ

これまではニュースといえば、テレビ、ラジオ、新聞で見聞きするものでしたが、インターネット・メディアの発達に伴って、様々なニュースがインターネットで流れてくるようになりました。 テレビや新聞では見聞きすることができないニュース、それらのニュースの背景の解説などをインターネット・メディアを通して視聴します。

- ◆日時…2016年6月28日(火)午前9時半~12時(開場9時)
- ◆場所…八幡野コミュニティセンター 3階会議室(会場費 500 円は割り勘で) (伊東市八幡野 1189-172 Tel. 0557-53-1177) (連絡先 大久保伸子 goron. key@gmail. com)
- ◆視聴番組
- ★インターネット・メディアとは? 一覧・説明
- 1. 自由なラジオ <u>http://jiyunaradio.jp/</u>
- 2. デモクラテレビ http://dmcr.tv/
- 3. マガジン9 (http://www.magazine9.jp/)、または IWJ (http://iwj.co.jp/join/about.html) の記事や動画
- 4. ツイッターのタイムライン
- 5. Facebook の記事

ヒロシマの証言

◆71年目の原爆投下の日、8月6日が近づいてきました。伊東にもヒロシマを体験した方がいらっ しゃいます。大室高原にお住いの加藤紀子(みちこ)さん。「市民ネットワーク」の賛同者のお一人で す。以下は「平和新聞」に掲載された記事です。ご本人の了解のもとに転載します。

> の郊外、五日市の軍需工場 たったと思います。 と言ったので工場へ出かけ が「サボらないで行こうよ」 にわけです。命の分かれ道 く予定でした。でも、友達 って広島市内の写真館に行 に毎日通っていました。 そして朝礼の時、原爆が 原爆が落ちた日は、サボ

ム島市から電車で30分ほど

16歳の当時、学徒動員で

がドドドと崩れました。 え、工場がある山の切り口 ンという大きな音と光が見 見えませんでしたが、ドー 落ちたんです。原爆の雲は 10時頃にかけて、「広島 死んでしまうと知らされ、 んでうずくまってしまいま 途方に暮れた覚えがありま てあげると、そこにしゃが した。後で、水をあげると

た。ひしゃくで水を飲ませ 骨のようになって止まって 黒くなってお腹から内臓が りません。 いて、川には死体がいっぱ 飛び出ていたり、電車が骸 行く手には、馬が倒れて 弟が見た父の最期

喚の街と化していました。 た。広島は阿鼻(あび)叫 につまずきながら歩きまし 怖くて顔を手で覆い、死体 い浮かび、よどんでいます。

ったけれど、「伝える義務



1928年生まれ、静岡県伊東市在住。 学徒に動員され、広島市郊外で朝礼 の最中に原爆を経験、当時16歳。30 代から原爆をテ -マに短歌を作り続 け、近年語り部を始める。

いのだそうです。

へと原爆をテーマにした短

私は30代の頃、同級生3

ての怖い顔しか思い出せな

状を思い出すことがつらか ね、と。初めは、広島の惨 たら原爆の記録になるよ 歌を詠み始めました。続け

父の最期は、一つ下の弟 りません。 と言います。私も生き残っ ね、こんなに生かされて」 爆者手帳は70歳までもらい たことが後ろめたくて、被 がある」と励まし合いまし り殺されたり、 ませんでした。 その一人は「不思議だよ 戦争は残酷です。殺した それしかあ

が飲ませると、鬼のような 顔を思い出そうとしても、 顔でのたうちまわって苦し んだと言います。弟は大人 になって、優しかった父の 「水をくれ」と言うので弟



た皮膚を垂らしていまし

路も家もどこがどこかわか

時間生きていたそうです。

をしながら歩いて帰り、70 かかとがなくなってやけど 業をしていて原爆に遭い、

期を聞きました。

原爆に遭った父が台所で

と、という思いです。

になった時、初めてその最

0人を切りました。 生きて

静岡県内の被爆者は70

いるうちに体験を伝えない

しか知りません。弟が80歳

暗く、街がまだ熱くて、道

に入った時は夕方みたいに

ら水くみを手伝え」とかり い。被災者が逃げて来るか に新型爆弾が落ちたらし

じ方面に住んでいた5人で

父は市内で建物を壊す作

広島市に入りました。市内

すきに勝手に山を下り、同

昼ごろ、先生が油断した

事務局からのお知らせ

加藤紀子さんを含め、「市民ネットワーク」 賛同者は 97 名に達しました。 松崎町、裾野市、三島市、 函南町など、伊東市外の方も賛同者に加わっていただいています。現金や切手のカンパもたくさん いただき、当分活動(情報の発信)資金に不足はありません。ご協力に感謝いたします。